

# ふれあい

## No.24

発行日 平成29年(2017年)7月27日  
発行人 社会福祉法人長野県社会福祉事業団  
長野県松本あさひ学園  
所長 岡田 菊夫  
〒390-0802  
松本市旭2-11-25  
TEL: 0263-88-3737  
FAX: 0263-34-5066  
E-mail: asahigaku@bf.wakwak.com



### コップ一杯の水



所長 岡田 菊夫

松本あさひ学園に勤務して2年目となりました。今年4月からは、今まで言いなれた「情短」(情緒障害児短期治療施設)という施設名称も「児童心理治療施設」と改まり、新たなスタートといえます。

さて、今年に入り、5月までに11名の子どもたちが学園を飛び立ってゆきました。家庭に戻った子、新たな施設で暮らし始めた子など、状況は様々ですが、感動的な言葉を残して涙と笑顔でお別れしました。

ただ、新米職員の私にとっては、学園での生活を見ながら「大丈夫かなあ。新しい環境でなんとかやっていけるかなあ。」と一抹の不安を抱きながらの送り出しとなった子が多かったように思います。

その後、アフターケアを担当する職員からは、色々なことはありながらも、それぞれの子どもたちが、新たな環境で元気に生活している様子をきくたびに、ほっと胸をなでおろしているようです。

子どもたちの成長は、ちょうど中が見えないコップに水が注がれている状態に思えます。コップが一杯になって、水があふれ出るまでには、それなりの時間がかかるように、成長の成果が外に見えるまでにはやはり時間が必要なのだ。子どもたちは日々同じ失敗を繰り返し、泣いたり、怒ったり、謝ったり、仲直りしたりを繰り返して、ゆっくりとではあっても、成長し続けているようです。

学園での治療は、水があふれ出る前の7分目くらいのところで、次にバトンタッチ。目に見えなくとも、コップの水の音や重さを担当職員は感じて、「今の君は、もう大丈夫だよ。」と後押しをして、次の舞台に送り出しているのだと感じます。この7分目を「まだ、これだけ?」と感じるか、「もう、こんなに?」と受け取るかで大きな分かれ道と言えそうです。

今回の子どもたちの巣立ちを見て、できれば、後者の受け止め方をできたらと、自分自身としては反省しているところです。

# 各ユニットの紹介

松本あさひ学園の子どもたちは、男子ユニット、女子ユニット、ホームユニット（けやき）の3つに分かれて生活をしています。今回は、各ユニットの紹介をしたいと思います！



## 男子ユニット

男子ユニットは小学生6名、中学生4名で生活しています。安心安全が守れる生活を掲げ、「暴言、暴力は絶対にしてはいけない」をルールとしています。小学3年生～中学3年生と幅広い児童が生活しています。男の子だけあってケンカは耐えませんが、自分達で決めたルールや目標に向かって生活します。

また、1年間を通して男子ユニット行事がたくさんあります。毎年恒例のカード大会もその一つであり、大会後は表彰式もします。これは「頑張る」という意味を理解してほしいという願いから行っています。みんな一生懸命で、負けて悔し涙を流す児童もいます。そういった感情一つひとつを表現させることも一つの支援だと思い実践しています。それ以外にも外食や公園に行き、社会のルールを学んだり地域との交流も大切にしています。今後も、児童の感情が見出せるような支援を実現していけたらと考えています。



## 女子ユニット

今年の女子ユニットは5月に3名の児童を送り出し、現在は小学生3名、中学生3名の6名で生活しています。また新しいユニット職員も3人増えました。児童との関わりを大切にしており、毎週15分の個別の時間を設けています。関わりを通して職員と信頼関係を築く、大切な一つとしています。また季節の行事を大切にしています。今年は初挑戦！梅シロップ作りをしました。梅の実を一つひとつきれいに拭き取りました。暑い夏、みんなで飲みたいと思います。七夕は、大きな本物の笹をいただきました。折り紙で作る装飾品を、作り方を知っている児童から知らない児童に優しく教えながら、皆でたくさんつくりました。願い事もたくさん書きました。今後新しい児童を向かいいれながらもみんなの願いが叶うよう、目標を達成できるよう、職員全員で一緒に頑張っていきたいと思います。



## ホームユニット（けやき）

今年度、ホームユニット（けやき）は男子児童3名でスタートしましたが、5月に新たに男子1名を加え現在4名となっています。小学4年生から中学1年生まで…児童、職員ともなかなか個性的なメンバーですが、日々楽しく過ごしています。

『より家庭的な環境下で、社会復帰する為の最終段階を丁寧に…』がコンセプトの様ですが、実際は個々の課題をより意識して取り組み、集団としても成長を図れる場であると考えています。

時には緊張感も走りますが、児童や職員、アルバイトの学生さん、GHユニットのみんながお互いにふれあいながら成長できれば…と思っています。



# 新転任職員の紹介



4月から次長兼治療支援課長としてお世話になっております。道中の「山麓線」では、市街地を眼下に、北アルプスや「常念」南に垣間見える「槍」を眺めながら、桜、藤、アカシアと移り行く花々と緑に心洗われています。水内荘が初任地で長く西駒郷に勤務しておりました。子どもとの関りは、養護学校寄宿舍職員以来32年ぶりとなります。日々新鮮な気持ちで頑張ります。よろしくお願いいたします。

次長兼治療支援課長 小澤 聖さん

新年度より、男子ユニットでお世話になっております。林孝行と申します。昨年度までは、長野県信濃学園で勤務しておりました。新しい環境で、子どもたちと、一喜一憂しながら、一緒に過ごしていきたいと考えております。その中で、少しでも子どもたちのお手伝いができればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



男子Uケアワーカー 林 孝行さん



今年度より新規採用にて松本あさひ学園に配属となりました、塚田啓祐と申します。これまで成人の知的障がい者支援に携わってまいりました。児童支援は松本あさひ学園が初めてで、まだまだ緊張の毎日ではありますが、1日でも早く児童に寄り添った支援ができるよう頑張ってみますので、よろしくお願いいたします。

男子Uケアワーカー 塚田 啓祐さん

4月から、松本あさひ学園女子ユニットに配属になりました、降旗誠といいます。以前は信濃学園に勤務しておりました。同じ児童ではありますが、また新たな気持ちで支援に励んでいきたいと思っております。常に児童を観察し、少しでも児童の将来を見据えた支援ができるよう頑張りたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。



女子Uチーフ 降旗 誠さん



松本児童相談所から、研修派遣という形で今年度1年間お世話になります、荻澤歩と申します。以前、松本あさひ学園の前身の諏訪湖健康学園で勤務していました。当時とは色んなことが変わっており不安もありますが、子ども達と直接関われることをとても楽しみにしています。子ども達が願う、よりよい自分になれるために応援していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

女子Uセラピスト 荻澤 歩さん

今年から新規職員として松本あさひ学園に配属になり、勤務させていただきます。馬場佳那と申します。社会人1年目で不安な事はたくさんありますが、興味深く感じる事もたくさんあると感じています。子どもたちがよりよい環境で過ごすことができるように支援していくと共に、私自身もたくさん学んでいきたいと思っております。



女子Uケアワーカー 馬場 佳奈さん



～ 今後の予定 ～

7月28日～8月21日	夏休み
8月22日	分校2学期始業式
9月13日～14日	小6 修学旅行
10月7日	ほほえみ祭
10月27日	日帰り旅行
12月27日	分校二学期終業式



「編集後記」

松本あさひ学園も、無事に7年目を迎えることができました。  
今年度も新たなメンバーを加え、より一層、松本あさひ学園を地域にアピールしていきたいと思っております。  
皆様方には、昨年度と変わらずご理解、ご支援をお願い申し上げます。

(ふれあい編集委員)